

年間のスケジュール

- 4月 定例理事会
- 5月 日本海洋学会春季大会（JpGU 大会にて共催）
春季評議委員会
社員総会
- 7月 選挙予告
- 9月～10月
日本海洋学会秋季大会
各賞授賞式・受賞記念講演
沿岸海洋シンポジウム
秋季評議委員会
- 11月 評議員選挙
- 12月 西南支部地区シンポジウム
- 1月 各賞選考
理事・各賞選考委員選挙
- 3月 海洋生物シンポジウム
定例理事会

（刊行物の出版スケジュールについては裏面に記載）

当学会では、研究者の交流の場としての研究発表大会の開催、次世代を担う若手研究者への支援、アウトリーチ、国際誌を含む刊行物の発行、研究業績の表彰など、多岐に渡る活動を行なっています。

普及のために

入会のご案内

海洋学は、様々な学問分野にまたがる科学であり、多くの人に活躍の場があります。海洋学に取り組むことは、地球環境に対する貢献となります。また、国際的な交流・協力を携わることもできます。

日本海洋学会は、厳正に科学と向き合いつつも、アットホームな雰囲気があり、海洋学に携わっていかうとする若手に対して、様々な支援を行っています。

美しい海を次世代に残すために、力を合わせて海洋学の発展に貢献しませんか？
貴方の情熱と才能をお待ちしております。

会員のメリット

- ・研究発表大会での発表資格
- ・参加費割引 / 刊行物無料購読
- ・会員交流とネットワーク作り
- ・情報交換（学会 HP/ML）
- ・「海の研究」への投稿資格
- ・会員向け活動助成への応募
- ・学会表彰の選考対象となる

入会・登録変更



年会費

通常会員 11,000 円 学生会員 3,000 円
団体会員 24,000 円 賛助会員 40,000 円

お問合せ先

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル

（株）毎日学術フォーラム内 日本海洋学会事務局

TEL: 03-6267-4550 FAX: 03-6267-4555

E-mail: jos@mynavi.jp

海を解き明かす。

沿革

- 1932年 本学会の母体となる「海洋学談話会」開催
- 1941年 日本海洋学会創立
- 1942年 『日本海洋学会誌』発刊
- 1948年 戦後活動再開
- 1973年 「海洋環境問題に関する声明」発表
- 1991年 学会誌を和文『海の研究』と英文『Journal of Oceanography (JO)』に分離
- 2011年～2013年 震災対応ワーキンググループ活動
- 2015年 『海洋観測ガイドライン』初版を Web 公開
- 2017年 春季大会を JpGU（日本地球惑星科学連合）の大会に合流
- 2024年 一般社団法人に移行

研究会及び支部

沿岸海洋研究会、海洋生物学研究会、西南支部、海洋環境問題研究会、教育問題研究会

日本海洋学会は海洋学の進歩普及を図ることを目的として 1941 年に設立されました。80 年以上の活動を経て、2024 年に一般社団法人となり、更なる飛躍に向けた一歩を踏み出しました。

海洋学の進歩と

研究業績の表彰

日本海洋学会賞

海洋学において顕著な学術業績を収めた会員を表彰します。

日本海洋学会 岡田賞

海洋学において顕著な学術業績を収めた若手会員を表彰します。

日本海洋学会 宇田賞

海洋学の発展に大きく貢献した、優秀な学術業績を挙げた研究グループのリーダーや、教育・啓発や研究支援において功績のあった会員を表彰します。

日本海洋学会 日高論文賞

本会の定期刊行物に掲載された優れた論文を表彰します。

日本海洋学会 奨励論文賞

本会の定期刊行物に優れた論文を発表した若年会員を表彰します。

日本海洋学会 環境科学賞

海洋環境保全に関連した学術研究・教育・啓発において功績のあった会員を表彰します。

日本海洋学会 吉田賞

海洋湧昇に関連する諸現象について優れた研究業績を表彰します。対象は会員に限らず、広く国内外の研究者から選出します。

若手への支援

次世代を担う若手会員に対して、活躍の場の提供や、研究活動を支援するための取り組みを行なっています。

若手集会助成

研究集会やセミナー等、若手会員^{*}が企画する海洋学に関わる集会への助成を行っています。最近の助成の例としては、海洋若手研究集会（夏の学校）、海を越えた本読み会（輪講）、武者修行セミナーなどがあります。

若手海外渡航援助

学生あるいは短期の契約で雇用されている研究者（任期付研究員、ポスドクなど）を主な対象とし、学会や調査への参加にかかる渡航費用のうちの一部を援助します。年2回の募集を行います。

日本海洋学会奨励論文賞

本会の定期刊行物に出版された論文のうち、若手会員が筆頭著者であるものを対象として、優秀な論文を選考して表彰しています。

進路（進学・就職）に関する相談窓口や情報提供

海洋学に関連する進学先や就職先・公募情報などについての情報発信を行っています。また、メンター制度や進路などの相談窓口の対応を進めています。

※日本海洋学会では、若手会員の範囲を、学生会員ならびに学位取得後8年未満（原則）の海洋学会会員としています。

アウトリーチ活動

海洋教育に関する様々な活動を行っています。

青い海助成事業

会員が一般を対象にして行う講演会やシンポジウム、小中学生などを対象としたフィールドプログラムなど、海洋環境保全に関連する教育・啓発活動を対象とした取り組みを活発化するために助成を行っています。

海の出前授業

各地の学校や博物館からの要望に応じて、講師を派遣、授業や講演を行っています。最先端の海洋学のおもしろさを伝えながら、理科や海洋に関するリテラシーの醸成に役立つことを目的としています。

海のサイエンスカフェ

学会員と一般の皆さんとで、海洋学の最新の研究結果について双方向で語り合う場です。多くの人に、海をより身近に感じてもらうにはどうしたらよいのかなどの意見交換を行っています。

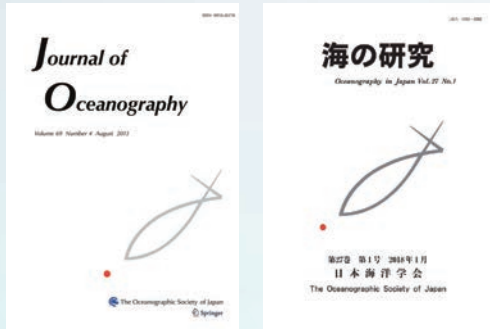
サイエンスアゴラや女子中高生夏の学校などへの出展も行っています。

刊行物の発行

学会誌として、英文誌“Journal of Oceanography”と和文誌「海の研究」を発刊しています。また、会員向けに「JOS News Letter」を発行し、学会記事、各集会やイベントの参加報告、公募情報、書評、寄稿などの掲載し会員に届けています。

Journal of Oceanography（年4回刊行）

掲載された全論文の中で、期間中の引用頻度が最も高い論文を表彰する取り組みを始めました。（JOMOCA: Journal of Oceanography Most Cited Paper Award）
海の研究（年6回刊行）



JOS News Letter（年4回刊行）



美しい海を次世代に。海洋学で未来を拓きましょう！